多摩市での市民による
自然エネルギー社会への取り組み

一般社団法人・多摩市循環型エネルギー協議会
理事　　大木　貞嗣

脱原発と自然エネルギー社会への胎動　2012年10月27日

多摩ニュータウン地域の環境単位

環境単位としては河川水系を多摩ニュータウン地域と考える。

私たち市民は、何ができるの？

- 3・11は大きな引き金だった
- 3・11以前の市民活動の反省から
- アピール・署名・カンパ・デモは意思表示にはなるけれど？？？

⇩

- 形あるもの・仕組み・子や孫へ残そう
- 市民発電所を作ろう

⇩

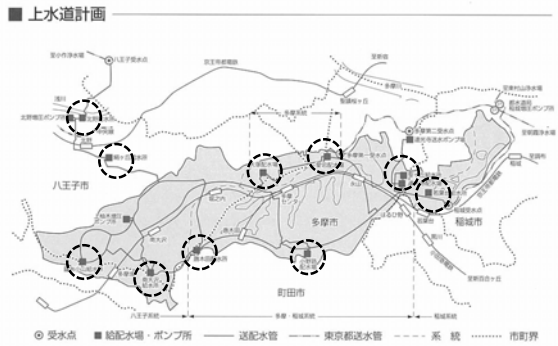
どうやって作るの？作れるの？

共有するビジョンを作る

多摩ニュータウンの隠れた資産

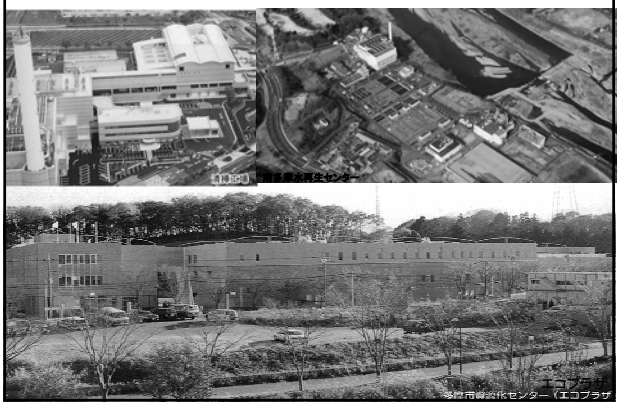
目を凝らしてみれば、自然エネルギーを生む環境が・・・

水道施設を利用した発電も可能か？



高所からの落差で小水力発電は給配水所での発電の可能性がある。

既存のエネルギー施設活用を拡大する。



多摩ニュータウン・エネルギー循環

■自然エネルギー循環による発電所の整備
- ●周辺丘陵緑地での風力発電
- ●各住宅や団地屋上でのソーラー発電
- ●駅舎などの屋根利用での太陽光・熱利用
- ●ゴミの清掃工場での火力発電強化
- ●空き施設を活用したコージェネ発電
- ●下水処理場のバイオエネルギー発電

■地産地消発電所のネットワーク化
- ●電力利用のスマートグリッド化
- ●多摩NTでのエネルギー循環
- ●給湯の活用を拡大展開
- ●省エネ環境実現で節電＝発電
- ●ストックの長期活用で省エネ
- ●資源の有効活用の推進

多摩NTで出来るエネルギー対策

■事業化推進及び研究
- マンションの屋根・ソーラーパネル設置事業
- 公共施設・市民参加型発電所設置事業
- 多摩センター駅前・コージェネ発電事業研究

■やってみては？
- 環境改善効果の高い屋根や外壁外断熱改修
- よこやまの道沿いの風力発電の可能性
- 唐木田清掃工場の発電規模拡大
- 多摩川グリーンセンターの発電規模拡大とバイオガス発生事業検討
- 東京都がはじめる地域単位のコージェネ発電との連携

屋根を発電所に!!!

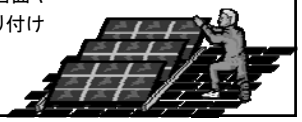
① 屋根を発電所にしよう。多摩ニュータウン内には少なくとも5千戸分の分譲マンションの屋根面積がある。屋根の葺き替えや防水周期との組み合わせでベストタイミングを選択。

② 広い駐車場には屋根代わりのソーラーパネルを設置(長峰森の1～5番街)

③ 自転車置き場の屋根も発電所(長峰森の1～5番街)

④ 敷地に余裕がある初期の団地は、建て替えではなく大規模発電所に変身。大屋根に大規模な発電所を整備して儲かる団地に変身。(愛宕2丁目住宅)

⑤ ソーラーパネルは高層棟の西面やバルコニーの下部など、取り付ける場所は多様。

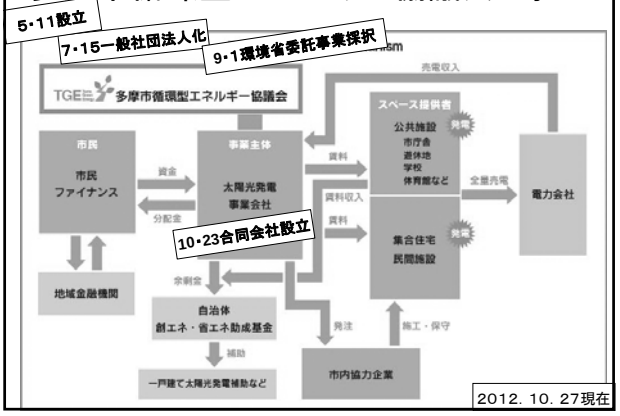


多摩市循環型エネルギー協議会 研究会発足テーマ(案)

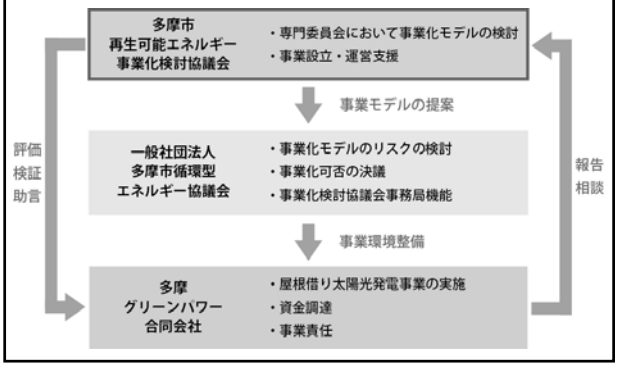
屋根借り・ソーラー発電パネル設置事業研究会
- メンバー構成(多摩エネ協、市民、市、企業、UR、管理組合、金融機関など)
- 研究テーマ(事業の仕組み、屋根設置の可能性調査など)
- スケジュールなど(月1回、会場は市役所・公民館等、参加自由)

多摩センター・無停電化計画に伴うエネルギー研究会
- メンバー構成(多摩エネ協、市民、市、エネルギー供給会社、周辺企業、管理組合、UR、電鉄など)
- 研究テーマ(共同溝と利用状況調査、駅前エネルギー事情など)
- スケジュールなど(月1回、会場は市役所・公民館等、参加自由)

多摩市循環型エネルギー協議会の狙い

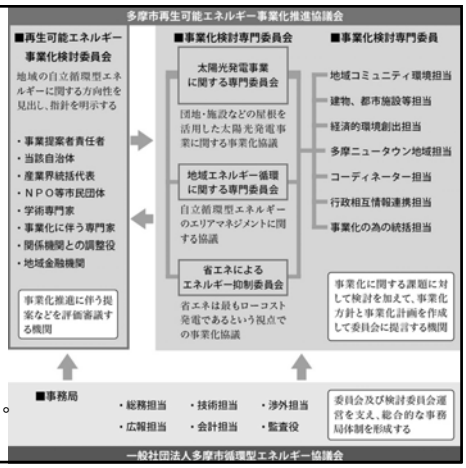


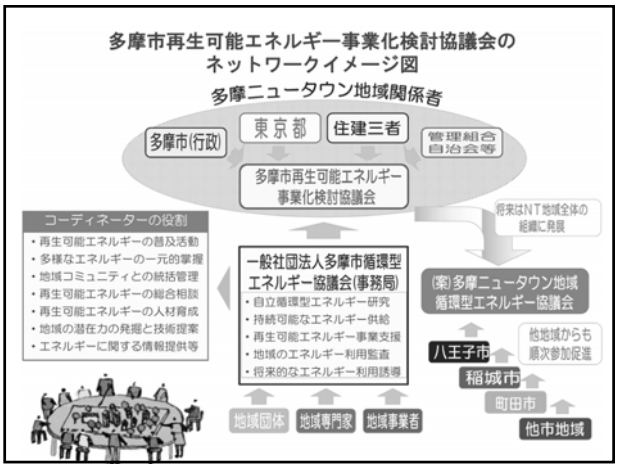
8月末・環境省「再生可能エネルギー地域推進体制構築推進支援事業」を受託



事業化推進母体の役割構成

事業推進のポイントは事務局体制の確立である。
行政のみではなく市民との協働が欠かせない。
必ず権利関係者が関わることが推進力になる。

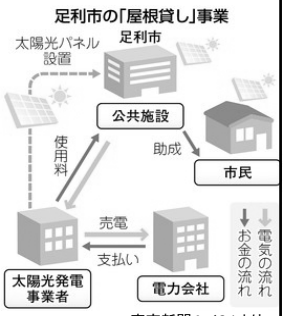




屋根貸しビジネスの事例

2012/3/30
政府の行政刷新会議とエネルギー・環境会議は29日、エネルギーに対する規制・制度改革をまとめた。再生可能エネルギーの導入拡大に向け、建築物の屋上に設置する太陽光発電に求められる**建築確認を不要にしたり、売電用の太陽光発電を工場立地法の適用外**にする。

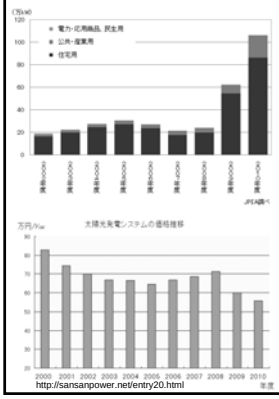
2012/7/1
再生可能エネルギーの固定買い取り制度の施行により、
住宅用太陽光（10KW未満）
→余剰買い取り方式は10年間42円/KWH
非住宅用太陽光（10KW以上）
→**全量買い取り方式で20年間40円/KWH**

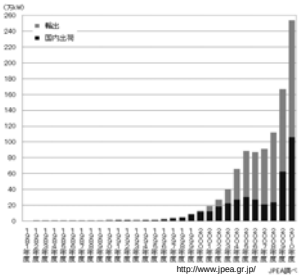


東京新聞4／21より

太陽光発電屋根貸しビジネスは既成の法律を改正しつつ多様化する。

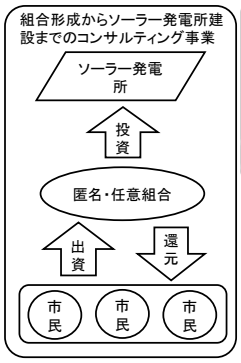
国内導入量とシステム価格の推移

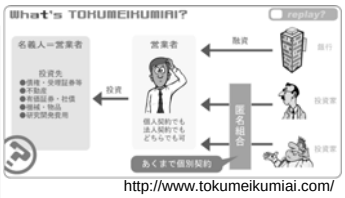




政策転換でソーラー発電の普及スピードは急増する。全量買取制度でさらに急速な普及が始まった。

多摩グリーンパワー合同会社の仕組み1

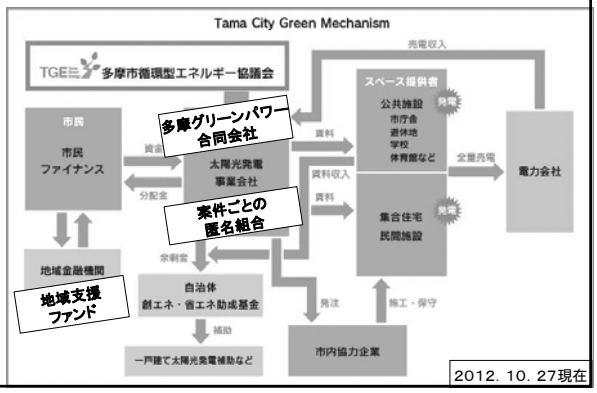




http://www.tokumeikumiai.com/

1. 役割はソーラー発電所等の事業企画及び事業モデルの実施・普及促進事業
2. ファンド営業者の力を借りて市民ファンドによる事業拡大

多摩グリーンパワー合同会社の仕組み2



2012. 10. 27現在

多摩グリーンパワーのロードマップ
2015年度までの計画到達目標

多摩ニュータウン地域の環境循環調査・ビジョンの共有化そして組織化　～2012

協議会組織の発足	事業化モデル研究の開始

↓

事業化に向けた行政・市民・民間・団体の共同作業の推進　2012

協議会の広範な展開	事業体の立ち上げと育成
協議会会員数百名の確保	**数十KWの実証事業**

↓

広域の事業展開として継続的な推進を確保　2013～2015

パブリックな組織化と継続	各種プロジェクトの実践

13年度1メガワット、14年度2メガワット、15年度2メガワット